

清里 まちづくり

No.19

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

まえりあ清里

で検索



清里地区文化祭で 清野町・野良犬獅子舞を披露

前橋市重要無形文化財に指定されている清野町・野良犬獅子舞を10月30日(土)の清里地区文化祭のアトラクションで披露していただきました。



迫真の演技を披露した清野町・野良犬獅子舞

10月10日(日)に清野町・八幡宮に奉納してから間もない披露でしたが、迫力のある演技の連続に、つめかけた

観客からは盛んに拍手が送られました。子どもたちの熱演に魅了されました。猛暑の中、夏休みを返上して子どもたちのためにお世話いただいた指導者の皆様方に感謝申し上げます。
なお、広報まえりあ(11月1日号)に「恒例の伝統行事 健康と豊作を願う 清野町」と題して、「まちかど通信」(24ページ)で紹介されていますのでご覧いただきたいと存じます。

清里地区文化祭で 清里の伝承わらべうたを紹介

「きよさと再発見シリーズ」の三冊目として刊行された「清里の伝承わらべうた」の発刊記念発表の一環として、また清里地区文化祭のメインイベントとして、冊子作成の協力者である民俗学研究家の酒井正保さんから「清里の伝承わらべうたと民話の世界」と題して講演をいただきました。



民話は「人の生き方」を教えてくれた

紹介された伝承わらべうたは、道祖神のうた、なるき攻めうた、十日夜うた、風花のうた、水すましのうた、子

守りの辛さをうたった子守りうた。伝承民話は「うばすての話」、「カッパのお礼の話」の二題でした。
郷愁のただよつわらべうたと民話の世界に、ひととき会場は包まれていました。

まちづくり活動と連携した 5回シリーズの地域づくり講座

まちづくり活動と連携した清里公民館主催による「地域づくり講座」(全5回)がこのほど終了しました。

清里小学校の六年生を対象とした「きよさと焼き体験コース」。地元産の枝豆や玉ねぎを使用し、自らの暮らす清里地区を知る機会になりました。

また、「夜のそば打ちコース」は、松岡好一さん始めスタッフの熱心な指導で、予定されていた二回の学習終了後は、自主学習へと移行しました。

「清里地区の伝統行事に親しむコース」では、上青梨子町に伝わる百万遍や盆踊り、清野町に伝わる野良犬獅子舞について、郷土史研究家の松下熙雄さんにお話しいただきました。



清里の誇る伝統行事を熱く語る松下熙雄さん

市役所でまちづくりパネル展示

前橋地域づくり連絡会では、9月27日(月)から10月8日(金)にわたり、前橋市役所1階ロビーでパネル展示を行いました。清里まちづくり協議会も、南橋など他五地区の地域づくり協議会とともに参加しました。

これまで前橋地域づくり連絡会は、毎年4月に前橋市総合福祉会館で開催している「前橋市地域づくり推進大会」以外には、合同発表の機会はありませんでした。そこで、普段はなかなか一般の方々に各地区の地域づくり活動を知っていただく機会がないことから、今回前橋市役所でのパネル展示を企画実施しました。

清里まちづくり協議会の展示内容としては、花いっぱい運動の花壇づくりの様子、清里小学校での「きよさと焼き教室」の様子、そば作り教室の様子、「きよさと焼き」の作り方、「清里ふるさと祭」の様子、などを写真中心に掲示した他、清里ふるさと祭のために作成したハッピー「まちづくり広報」の展示、きよさと焼きレシピの配布を行いました。

ご覧いただいた方には、他地区の地域づくり協議会にはない活動、具体的には「きよさと焼き」やそば作り教室の開催、地域の祭りを主催していること等をアピールできたと思います。ちなみに、参考までに申し上げますと、「きよさと焼き」については、地元

の特産物を使ったオリジナル料理ということ、他地区からもたいへん注目をされています。

今後、このような発表の機会を通じて、清里まちづくり協議会の活動状況を清里地区内外にPRしていきたいと考えています。



前橋市役所ロビーでまちづくりのパネル展示

なお、前橋地域づくり連絡会のパネル展示は、六地区ずつ三回に分けて行うことになっており、清里まちづくり協議会は第一回の展示に参加しました。今後、第二回(11月22日から12月2日)、第三回(12月13日から12月24日)が、前橋市役所一階ロビーで予定されています。

他地区の地域づくり協議会の活動に興味のある方、あるいは市役所にお出かけの方はご覧いただければと思います。よろしくお願いいたします。

(松下 均)

清里公民館での取り組みから

「清里の伝承わらべうた」を刊行

「きよさと再発見」シリーズの三冊目になる「清里の伝承わらべうた」がこのほど発行になりました。

同シリーズは、今までに清里地区に残る貴重な文化財を紹介した「清里文化めぐりハンドブック」(平成21年度)、「地域づくり講座」で学んだ清里地区に伝承される民話や祖先が心を寄せて来た社寺への概念、清里地区の年中行事と風俗などをまとめた「学習の記録」(平成20年度)と、年一回のペー

スで発行してきました。発行にあたっては多くの皆様のお力添えをいただきましたことにつきましく厚くお礼を申し上げます。



清里・まちの話あれこれ

・池端町 十日夜祭

伝統の十日夜祭が11月20日(土)、晴天のもと今年も盛大に行われました。清寿会によるわら鉄砲づくり、自治



伝統行事の「十日夜」を手作り紙芝居で紹介する

会の奥様方を中心とした餅つき、子ども会の綿菓子、生涯学習奨励員による「わら鉄砲」にまつわる紙芝居等々、一日中子どもたちの明るく元気な笑顔が絶えませんでした。人気のわら鉄砲は、清寿会の指導を受け、子どもたちも一生懸命に作りました。

子ども遊びの中には昔から数多くの鉄砲が存在します。水鉄砲、杉、竹、紙などを使う鉄砲です。この銃口を持たないわら鉄砲は極めて特殊な興味ある鉄砲といえます。

子どもたちは作りたてのあんびん餅をほおばりながら、出来上がった「わら鉄砲」で地面を無心で叩きます。子どもたちの楽しく、明るい笑顔を見るにつけ、来年もまたこの伝統行事をしてあげたいとおもなたちは思うのです。

(飯島 博)

・青梨子町でも十日夜祭

11月13日(土)午後1時より

青梨子町集会所において

参加者 小学生三十名 清寿会四十名
各種団体役員十数名
作るもの わら鉄砲、丸め餅、けんちん汁など

清寿会男子によりわら鉄砲の作り方が子どもたちに教えられます。芯には里芋の茎が入れられ、音が大きく良く響くよう工夫し、土を叩いても壊れないよう、しっかりと荒縄を巻きます。子どもたちはこれで地面を叩き、モグラを野から追い出し、豊作を祈願します。女子は、丸め餅作り、祭りの供え物で、子どもたちが民家の庭先をわら鉄砲で打った後、もらって帰る習慣として、残されて来たものです。



楽しそうにわら鉄砲と戯れる子どもたち

今年、十日夜の歌詞も譲り受けたので、子どもたちに唄も覚えてもらい、世代間交流の場として、過ごしました。

(田村和夫)

・青梨子町前原・清寿会の旅行

旅行地を茨城県阿字ヶ浦海岸とし、宿泊をつるやホテルに決めて、一泊二日の旅行を実施した。

往路、地元を午前10時に出発、結城つむぎセンターを見学して昼食。

日本三名園の一つ水戸偕楽園に着く、園内には石段や坂が多くお互いが助け合いながら好文亭などを見学、園内散策をしながらバスへ戻る。

海岸をドライブしホテルへ到着。寛ぐ、宴会を始める。宴は盛り上がりより親睦を深めることができた。

一夜が明け朝食後、全員海岸へ出て、潮騒を聞きながら太平洋の景勝をパツクに集合写真を撮った。

復路、ホテルを午前九時に出発、魚市場を見学。それぞれが魚を購入、バスのトランクが満杯となる。

笠間稲荷を参拝、昼食を食べて帰路につく、午後四時無事に帰着。

参加者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

(伊藤昌慶)



平成22年度 前原清寿会 秋の旅行 阿字ヶ浦海岸

清里・専門部会の活動あれこれ

(1) 花いっぱい運動部会

今回は、グループで花畑を作っているところを紹介させていただきます。

・天明寺北交差点付近

新井孝さんを中心に七名の方々が、七アールの畑一面にコスモスを咲かせてくださいました。群生しているコスモスは、とても華やかです。春はチューリップ畑でした。

・青梨子町「萩の会」の花畑(萩原土木資材置場の東)

萩の会のメンバーは、いつの楽しそうに作業しています、季節ごとにひまわりやアメジストセージなどいろいろ

な花を楽しませてくれます。

・前原ふれあいいきいきサロン花壇(松下熙雄さん宅の南側)

地区の民生児童委員さん、保健推進員さんが中心に管理して下さっています。「シダレ桑」のまわりにいろいろな花が植えられています。

・上青梨子町の淡島花壇(淡島神社南)

ご近所の有志の方々が除草や植え替えなどをして下さっています。今、西洋朝顔(ヘブンリーブルー)が咲いています。

(櫻井恭子)



見事に咲き誇る池端町のコスモス畑

(2) そば打ち部会

・松本そばまつりに参加して!

そば打ち部会はそばの食べ歩きをしよと計画、今年は松本そばまつりへ行こうと準備を進め、会員の方々が資料を集め、宿の手配などみんな準備参加者は部外全員に近い十七名。

10月8日(土)の泊二日の小旅行。8日の八時出発、上信道 長野道、豊科ICでくだり、「大王わさび園」で散策と昼食、午後は安雲野ちひろ美術館でゆっくりと思ひ出のひと時…。記念写真。次はワイナリーで信州ぶどうのワインを試飲したり、おみやげを買ったり、今日の宿、浅間温泉伊藤園ホテルへ。お風呂にゆっくりと入った後は楽しい「夕食会」。バイキングで飲み物は飲み放題。おしゃべりと腹をいっぱいにして床の中。翌日、松本そばまつり会場へ。素人そば打ち三段位認定大会「中央体育館会場へ。出場者の緊張した顔。開会式では注意事項などが伝えられ、いよいよ午前10時より第一組目十二名がテーブルに向う、制限時間四十分。「始め」の声と同時に選手全員が動き出し、会場はシーンと静まり、審査員の歩く足音だけ。時間が進み、会場内の包丁の音がコツコツと響き、時間は迫り、見学者の肩にも力が入る。そして秒読み…。十秒前までに全員無事終了。審査員の先生方の最終チェックも終わり会場内はほっとした雰囲気

が流れる。見学者に打ったそばが見せられ、感心したり、溜息をついたり。そして、選手の人たちの打ったそばがもらえてみんなニッコリ。

次は、松本城跡公園のそばまつり会場へ!。全国から自慢のそばが二十か所のテントで食べられる。北は北海道のダツタンそば。東京の江戸流手打ちそば(鶯)の会の寺西名人による実演そば打ちのみごとな「そば」が食べられた。みなさんもそれぞれのブースを回りそれぞれの味をくらべて満腹の一日。歩けば時間が足りない、もっと見学と散策をしたいけれど…。帰りの時間だ。残念!。帰りのバスの中では、そばの味と応待のひとたちとの会話でにぎやかなバスの中、無事、公民館へたどりついた。お疲れさまでした。



安雲野ちひろ美術館にて記念撮影

10月30日(土)の清里地区文化祭。そば打ちコーナーに多くの皆様がおいでくださいまして有難うございました。今年の「新そば」の味はいかがでしたか?。会員一同、心をこめて打ったそばです。感想などありましたら清里公民館へお寄せください。

参考にさせていただきます、より良いそばを食べていただけるよう努力いたします。(松岡好一)

(3) 社会福祉部会

赤い羽根歳末たすけあい募金には多額の募金をいただきました。福祉施設や地域社会福祉活動に大切に使用させていただきます。善意のご協力ありがとうございました。地域社会福祉活動に主力で活躍して下さっております、民生児童委員さんが11月末で委嘱替ということで、町内で行われているいきいきサロンでは池端町と前原をお世話くださった池端町の木暮春雄さん、木暮佳代さん、前原の小池直治さん、岩田妙子さんが11月サロンで最後ということ、利用者の皆様が長い間お世話になった感謝の気持ちを込めて花束を贈りました。地域のために長い間ご活躍くださいまして有難うございました。12月サロンよりお話くださいます池端町の鹿島洋一さん、木暮端江さん、前原の松島裕さん、霜野久子さんよろしくお願ひいたします。

(高橋 清)



民生児童委員さんお世話になりました

くわの実

今年の夏はとても暑かった、各地で最高気温を記録し熱中症による被害も多かった。前橋も例外でなく、³⁵以上の猛暑日が昨年は三日間だけに對し二十八日間も。十年前の猛暑日は十一日間。いかに暑い夏だったかがわかる。日本近海の海面水温も高く²³(10月末)はある。採れるはずの魚が採れないのもごもともである。統計資料から見ると1910年(明治43年)の前橋の平均気温は12.8、昨年は15.1 百年あまりで2 以上気温が高くなっている。地球温暖化防止と騒ぐのは当然のことである。暑い夏が過ぎ、あつと言つ間の秋、そしてどのような冬になるのでしょうか。(隆)